

## 要 旨

試験委託者

環境省

表 題2,4,5-トリクロロフェノールのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する急性遊泳阻害試験試験番号

0210EDI

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984 年)に準拠して実施した。

ただし、2002 年度にテストガイドラインが改訂され近々公表される事になっている。本報告書は改訂版の内容を一部取り入れている。

- (1)被験物質 : 2,4,5-トリクロロフェノール
- (2)暴露方式 : 半止水式(24 時間毎に試験液の全量を交換)
- (3)供試生物 : オオミジンコ(*Daphnia magna*)の雌の幼体(生後 24 時間以内齢)
- (4)暴露期間 : 48 時間
- (5)試験濃度(設定値): 対照区, 0.10, 0.22, 0.46, 1.0 および 2.2 mg/L(公比;2.2)
- (6)試験液量 : 100 mL/容器
- (7)連数 : 4 容器/試験区
- (8)供試生物数: 20 頭/試験区(5 頭/容器)
- (9)試験水温 : 20±1℃
- (10)溶存酸素濃度: 飽和濃度の 60%以上
- (11)pH : 試験液の pH 調整は行わない。
- (12)全硬度 : 10~250mg/L(CaCO<sub>3</sub> 換算)
- (13)照明 : 室内光、16 時間明/8 時間暗
- (14)給餌 : 無給餌
- (15)分析法 : HPLC 法

## 結 果

### (1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質濃度は全ての濃度区において、調製時(0 時間)と換水前(24 時間)でほぼ設定どおり(91%~98%)であったことから、暴露期間中は安定して維持されていたものと判断した。各影響濃度の算出には測定値(幾何平均値)を採用した。

### (2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度(EiC50)	:	1.3 mg/L(95%信頼区間:0.97~2.0 mg/L)
0%阻害最高濃度(EiC0)	:	0.44mg/L
100%阻害最低濃度(EiC100)	:	2.0 mg/L

### (3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度(EiC50)	:	0.98 mg/L(95%信頼区間:0.80~1.2 mg/L)
0%阻害最高濃度(EiC0)	:	0.20 mg/L
100%阻害最低濃度(EiC100)	:	2.0 mg/L